



令和5年
12月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 井上 雅規

中番フェスティバル開催!

★久々の全校合唱で、子どもたちの歌声が帰ってきました!

令和五年もいよいよ十二月を迎えようとしています。十一月十八日(土)、最大の学芸的行事である中番フェスティバルを無事、開催することができました。四年ぶりとなる全校合唱「ビリーブ」でオープニングを飾り、学年層(一・二年、三・四年、五・六年)に分かれて発表をしました。たいへん手前味噌ではありますが、群読・合奏・斉唱・太鼓等、各学年層で、工夫を凝らした、楽しく、そして、見事なステージでした。この中番フェスティバルについては、地域の皆様にとっても大変楽しみな教育活動であると思えます。コロナ禍が明け、久しぶりに感染対策上の制限なく開催できましたことは、この上なくうれしいことだと思います。キヤパシティーの關係上、各家庭二名程度という制約をお願い申し上げ、不自由をおかけいたしました。優先座席への移動を含め、席を譲り合いながら最後までご鑑賞いただきましたことを、深く感謝申し上げます。



とともに厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。ごさいます。

この中番フェスティバルでは、一・二年生は群読と合奏、三・四年生は斉唱・手話と合奏、五・六年生は合奏と誉田太鼓に取り組みました。一・二年生は、大きな声で、リズムよく群読を行い、鍵盤ハーモニカ、木琴、鉄琴等、楽器を用いて「木星」を合奏することができました。三・四年生では、「あしたははれる」を手話つきで軽やかに斉唱し、リズムカルでテンポ良く「ミックスナッツ」を合奏しました。五・六年生は、難しい曲である「情熱大陸」に挑戦し、見事な合奏を披露しました。そして、誉田太鼓「千の海響」。本年二十二年度を迎える伝統を受け継ぎ、オリジナルティーを加えながら進化した迫力ある演奏でトリを飾りました。「親子二代」で取り組まれたことなるご家庭もいらっしゃるようです。時が流れ、時代が変わっても、同じ系譜の中で大切にしていかなければならないものですね。この中番小学校にはその伝統が確実に息づいています。



子どもたちは、いくつもの日々を越えてたどり着いた今を実感し、大きな達成感を味わったことと思います。一つのことを成し遂げた子どもたちに「BRAVO! (ブラボー!)」



二学期のまとめの時期「個人懇談会」を実施します

十二月四日(月)より、個人懇談会を実施します。ご家庭と学校とが、個々の児童を中心に据え、互いに情報共有しながら忌憚なくお話ができるよい機会です。お子様のこと(学習・生活、お家の様子、ご心配なこと、気になること等)、また、学校へのご質問等もお聞かせいただけると、実り多いものになることを願っております。

どんなに厳しく苦しい状況にあっても、どんな時もあたたかく見守り、ご理解をいただいている保護者の皆様、地域の皆様の借しめないご支援とご協力に感謝申し上げます。「今日も学びたい、明日も行きたい。」そう思える中番小学校の実現に向け、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っております。中番小学校は、この地域とともに在り、地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと願っています。

それでもやります 中番小学校 「中番一番」

☆☆裏面に「12月の行事予定」を掲載しております。ご確認ください☆☆